

# 特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所 (所在地：東京都港区)

## 事業名

“晴れの舞台”で働く体験から学び、「社会生活力」を身につける生涯学習プログラムを地域連携により拡大促進し、社会参画へとつなげていく実践研究

## 主な連携先

川崎市 健康福祉局 障害者社会参加・就労支援課、  
社会福祉法人 県央福祉会 企業応援センターかわさき、市内福祉事業所  
Jリーグ川崎フロンターレ、Bリーグ川崎ブレイブサンダース

## 主な対象

知的・精神・発達障害、肢体不自由、ひきこもり等  
(年齢は10代～60代まで)

## 事業の趣旨・目的

川崎市において地域リソースを活用して、行政・企業・団体・福祉事業所・スポーツチーム等と連携。スポーツなどの“晴れの舞台”において、働く体験を通じた学びの場を常態的に創出し、地域システムに発展させモデル化。まずは地域単位で、共に学び・働き・生きる共生社会の実現を目指す。そしてそのナレッジとノウハウを地方地域にオープンソースとして提供し、日本各地に学びの場を拡充していく。

## 事業実施体制

【連携協議会構成員】川崎市 健康福祉局 障害者社会参加・就労支援課、  
【連携協議会構成員】川崎市 健康福祉局 障害者雇用・就労推進課、公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)、株式会社 川崎フロンターレ、株式会社 DeNA川崎ブレイブサンダース、特定非営利活動法人 日本セルフセンター、株式会社 LITALICO、社会福祉法人 県央福祉会、社会福祉法人 電機神奈川福祉センター、社会福祉法人 青い鳥、NPO法人スロコミ、新潟県社会福祉協議会、Jリーグ 藤枝MYFC、

## 学習プログラムの内容

【概要】市内のJリーグ 川崎フロンターレやBリーグ かw先ブレイブサンダースをはじめとするプロスポーツのホームゲームや、映画・音楽などのイベントなどにおいて、障害者が運営スタッフとして働き、その体験を通じて社会を学べる場を提供。

【日程】平日、土日祝、GW、お盆・お正月休みなど問わず実施。

【時間】単日2時間～4時間程度。

【対象】知的・精神・発達障害、肢体不自由、ひきこもりの方など

【地域】神奈川県川崎市を中心に以下地域でも実施  
東京都渋谷区・品川区・世田谷区・港区、宮城県仙台市、新潟県新潟市、静岡県藤枝市、京都府亀岡市、岩手県陸前高田市

## 研究の成果と課題

- 川崎市における学習プログラムは2021年4月から2022年1月までに **28回実施。障害当事者延べ103名が参加。**
- その他地域における実施が飛躍的に増え、**9地域に拡大。** 合計の**実施回数は41回で、障害当事者が延べ400名以上が参加。**
- 受入先スポーツチームにおいて、プログラムを通じて**スタッフ間で障害者理解が深まり**、アルバイトスタッフ(大学生)の働き方が変わったり、障害者の**“超短時間雇用”に繋がる**などの事例や成果が生まれている。
- この体験からの学びを経て、就労のみならずアルバイトを始めたり、事業所に通い始めたりと、**社会参加への1歩を踏み出す方**が出てきている。
- コロナ禍での安全で安心できる**実施環境の整備の負担が大きい**のが課題

## その他研究の詳細など

- 成果報告会、シンポジウムのアーカイブ動画



Sports X Conference  
2020+1 “Redesign” スポーツと社会の関係性をリデザインする(主催：日経新聞社、一般社団法人Sports X)



超福祉の学校「スポーツの舞台で障害者が働く、インクルーシブスタジアムの実現」(主催：弊社 共催：文部科学省、渋谷区)



Jリーグ 川崎フロンターレ  
(神奈川県川崎市)



Bリーグ 川崎ブレイブサンダース  
(神奈川県川崎市)



Jリーグ 藤枝MYFC  
(静岡県藤枝市)